

# 栽培のしおり

## 【シソ(シソ科)】

シソはこぼれダネで良く増えるので、庭の隅に数株育てると毎年収穫できる。□

土質も殆ど選ばず、何処でも元気に発芽してくれるので重宝する。□

花穂を全部収穫してしまうと種が出来ないので、翌年の事を考えて少し残しておこう。

紫蘇は春になると前年の落ちた実から発芽するので、それが本葉が3-4枚になったら20cmくらいの間隔で植えれば良いでしょう。購入する必要はないと思います。

最初の年は種を購入するか、苗を購入する必要がありますね。

### 栽培時期

種まき・4月中旬定植・5月中旬□

### 栽培のポイント

可愛い発芽時に比べ、株は大きく成長するので発芽後に密集しているところは間引く事を忘れずに。

### 品 種

紫蘇は、「葉が紫色の赤ジソ」と「葉が緑色の青ジソ」があります。□

また、同じ色でも葉がたいらで滑らかなものと、ちりめん状のちりめんジソがあります。

### 土壌酸性度

### 連作障害

無

### 元 肥

### タネまき

気温が20~25度前後で4月~6月ぐらいに種を蒔きます。

また、青しそは発芽するのに光を好むので浅めに蒔きます。

様子を見て、土の表面が乾いていたら水をあげます。

### 発芽日数

種をバラまきしてから2週間後に発芽

### 間引き

発芽したら本葉5~6枚ごろ株間が20cmぐらいに間引きをします。

間引いた物は芽シソとして利用できる。

### 追 肥

草丈15cmごろから月1回、1株当たり大さじ一杯の配合肥料をばらまいて、土と軽く混ぜ合わせる。

### 収 穫

収穫・7月上旬~9月下旬。

葉は下のほうから順次収穫し、穂は1穂に5~6個ほど開花したところに収穫して穂ジソとして利用する。

### 栽培実績

#### 品 種()2008

2008土作り(F-脇区画)

4/28 耕作,苦土石灰

5/5 堆肥,配合肥料

植付(F-脇区画)

5/17 植付X3

xx/xx 廃棄

植付(I-右区画)

6/25 植付X5

7/02 植付X9

10/20 廃棄

植付(I-左区画)

7/04 植付X5

10/20 廃棄

苗作り

4/2 発泡スチロール、ポットに種蒔

4/1発芽

5/10 シフィーポットX12に種蒔

5/xx発芽

5/11 発泡スチロール→シフィーポットX3に移植。他はハイキ

5/11 ポット→ハイキ

5/11 自然発芽分→シフィーポットX9に移植。

5/20 シフィーポットX12発芽

6/24 シフィーポットX12→発泡スチロール

#### 品 種()2009

2009/03/18 プランターに種蒔、トンネル掛け

04/11 トンネル外し

04/11 発芽

04/11 撤去

05/20 鉢に植替え

XX/XX 畑に植替え

XX/XX 初収穫

10/17 収穫完了撤去

04/09 自然発芽の苗をプランタに移植

**品 種()2010**

2010/XX/XX 各所に発芽した苗を集めてプランターに植付

06/13 C4,B5に植替え

XX/XX 初収穫

08/22 C4収穫完了、撤去

10/04 E4収穫完了、撤去

10/08 B4収穫完了、撤去